

## 4 選抜方法

学 部	経済学部 ※1	経営学部	法学部 ※1	人文学部	工学部				
学 科 コ ー ス	1 2 部 部 (経済(経済・地域 経済)経済(地域 経済))	1 1 2 部 部 部 経営 経営 経営 学 情 学 科 報 学 学 報 科 科	1 2 部 部 (法律・政治 法律)政治)	1 1 2 2 部 部 部 部 日 英 日 英 本 米 本 米 文 文 文 文 化 化 化 化 学 学 学 学 科 科 科 科	社会環境 工 学 科 工 学 科		建 築 学 科	電 子 情 報 工 学 科	生 命 工 学 科
選 抜 方 法	小論文 書類審査	事前提出小論文 書類審査	事前提出作文 書類審査	事前提出作文 書類審査	社会環境 コ ー ス 環 境 情 報 コ ー ス		口頭試問 書類審査		
詳 細	<p>◎経済学部 (1) 書類審査 全体の学習成績の状況、志望理由書、調査書の特記事項等を総合的に評価します。 (2) 小論文 最近の社会問題に関する資料をもとにした記述・論述（合計 600～1,000 字程度：60 分）</p> <p>◎経営学部 事前提出小論文では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。 また、書類審査では、「成績順位一覧」および調査書を活用し、学習成績の状況、出席状況、部活動やボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰や顕彰等の記載事項を評価します。 2 部では「課外活動実績証明書」を活用します。 ※試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。 ※合格者には、入学までの期間にプレ教育を実施することがあります。</p> <p>◎法学部 「事前提出作文」と「書類審査」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。ただし、テーマから外れた作文が提出された場合、高校側に連絡し、再提出してもらうことがあります。</p> <p>◎人文学部 「事前提出作文」では、志願者の「読書経験」「読解力・思考力・表現力」「人文学的想像力」を評価します。 ※「事前提出作文」と「書類審査」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。</p> <p>◎工学部 「口頭試問」と「書類審査」で合否判定を行います。</p>								

※1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は、1 年次末に決定します。

## 5 入学検定料の支払い・出願上の注意について

5～6 頁を参照して手続きを行ってください。

## 6 受験上の注意

### (1) 試験について

- ①試験会場は、本学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
- ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
- ③試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
- ④小論文の試験は、試験開始後 20 分を過ぎた場合は受験できません。口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
- ⑤小論文の受験者について、試験中に使用するものは以下のとおりです。  
HB の黒鉛筆・シャープペンシル、シャープペンシル替え芯、プラスチック製の消しゴム、時計（時計機能だけのものに限る）、鉛筆削り（電動式は認めない）、メガネ  
\*下敷き、定規、コンパスの使用は認めていません。  
\*電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品およびこれに類するものの試験場への持ち込みを禁止します。  
\*ティッシュペーパー（予め袋等から中身を取り出しておくこと）、座布団、ひざ掛け、目薬については、監督者に申し出のうえ、許可を得たうえで使用できます（監督者による確認の結果、使用できない場合があります）。なお、座布団、ひざ掛けは無地のものに限ります。  
\*帽子やサングラス等の監督者による本人確認の妨げとなるもの、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。